



DAIHATSU



2017年5月9日
(1/6)

軽乗用車「ミラ イース」をフルモデルチェンジ ～DNGAの原点を確立するモデルとして、 軽の本質である「低燃費・低価格」に加え、「安全・安心」を追求～



ミラ イース G “SAⅢ” (2WD)

ダイハツ工業（株）（以下、ダイハツ）は、軽乗用車「ミラ イース（Mira e:S）^{※1}」を6年ぶりにフルモデルチェンジし、5月9日（火）から全国一斉に発売する。

初代ミラ イースは、社会の環境志向の高まりを受け、軽自動車の意義を再度見直し、当時ガソリン車としては最高^{※2}となる30.0km/ℓ、80万円を切る入り口価格を実現。「低燃費」「低価格」「省資源」な「第3のエコカー」として、2011年9月に発売し、軽自動車の新たなジャンルを切り開いたモデルである。

一方で近年お客様のニーズは、経済性に加え、「こだわり・安心・品質」といった、自分ならではの価値を求める傾向にある。そこで、女性や高齢者、地方のお客様を中心に「日常生活のパートナー」としてお使いいただいているミラ イースのフルモデルチェンジに際し、軽自動車の本質である「低燃費・低価格」に加え、多くのお客様の声をうかがった中で見えてきた、「+αの魅力」として、「安全・安心」を追求。安心な運転に繋がる基本性能を向上させるとともに、衝突回避支援システム「スマートアシストⅢ」を同車で初めて採用した。

また、新型ミラ イースは、ダイハツの目指すユーザーオリエンテッドなクルマづくりを実現するための独自の事業構造である「DNGA（ダイハツ・ニュー・グローバル・アーキテクチャー）」の原点を確立するモデルである。DNGAの原点とは、「低燃費」・「低価格」・「安全・安心」を追求し、「見て、触って、乗って感じるクルマのあるべき姿」にこだわり、お客様の日常に寄り添う、「いつでも、誰でも気軽に乗れる軽」を基点とした、スモールカーづくりの考え方である。

ダイハツは今後、新型ミラ イースで確立したDNGAの原点に基づき、DNGA第一弾となる新プラットフォームを搭載した軽自動車を投入、さらに小型車やグローバルへの展開も目指す。

新型ミラ イースの主な特長は、以下の通り

1. 軽量化等による35.2km/ℓ^{※3}の低燃費（全車エコカー減税免税レベル）
2. 入り口価格84.2万円^{※4}からの低価格
3. 安全・安心の基本性能と装備（スマートアシストⅢ等）
4. 力強さと先進性を表現したデザイン
5. 日常にジャストフィットする快適装備

※1：Eco（Ecology・Economy）&Smart（賢い選択）の略

※2：2011年9月20日時点

※3：L“SAⅢ”/L/B“SAⅢ”/B・2WD車。JC08モード走行燃費（国土交通省審査値）

※4：B・2WD車。メーカー希望小売価格（消費税込み）

*** 販売概要 ***

月間販売目標台数：9,000台

発表展示会：5月20日（土）、21日（日）

*** メーカー希望小売価格 ***

【ミライース（消費税込み）】

グレード*	エンジン	トランスミッション	駆動	燃費 (km/ℓ) JC08モード*	価格(円)	エコカー 減税レベル
B	KF-VE型 (NA車** ⁵)	CVT	2WD	35.2	842,400	免税** ⁶
			4WD	32.2	972,000	
B“SAIII”			2WD	35.2	907,200	
			4WD	32.2	1,036,800	
L			2WD	35.2	874,800	
			4WD	32.2	1,004,400	
L“SAIII”			2WD	35.2	939,600	
			4WD	32.2	1,069,200	
X“SAIII”			2WD	34.2	1,080,000	
			4WD	32.2	1,209,600	
☆ G“SAIII”	2WD	34.2	1,209,600			
	4WD	32.2	1,339,200			

☆：写真掲載

※5：naturally aspirated engine（自然吸気エンジン）

※6：自動車取得税、自動車重量税免税。軽自動車税はグリーン化特例適合で50%減税（2017年5月9日現在）

◎2WD車の北海道地区は、16,200円高。価格にリサイクル料金含まず

お客様からのお問合せについては、最寄りのダイハツ販売会社または、ダイハツお客様コールセンター（Tel 0800-500-0182）にお願いいたします。

* 車両概要 *

1. 軽量化等による35.2 km/lの低燃費（全車エコカー減税免税レベル）

◇従来型比最大80kgの軽量化

- ・軽量高剛性ボディ「Dモノコック」、足回り部品の最適化、樹脂パーツの採用、内外装部品の合理化・薄肉化などにより、従来型車より最大80kgの軽量化を実現
- ・サイドアウターパネルの全面厚板ハイテン化により、ボディ全体で力を受け止める構造の「Dモノコック」（軽量高剛性ボディ構造）を採用し、補強材の最適配置や小型化、また部品同士の結合強化や、一体化を図ることで、高強度高剛性と軽量化を両立
- ・フロントフェンダー、バックドア、燃料タンク^{※7}など細部にわたり樹脂パーツを採用することで軽量化を実施
- ・足回り部品の最適化により軽量化。またL、Bグレードには国内最軽量^{※8}となる13インチタイヤと13インチスチールホイールを新開発し採用

◇空気抵抗を従来型比約3%低減した高い空力性能

- ・空気の流れを考慮したデザインやボディ各部への整流アイテムの設置などにより、空気抵抗を低減（Cd値3%低減）し、空力性能を向上

◇進化したエンジンユニットでエネルギー効率を改善

- ・エンジンは従来のKF型をベースに、オルタネーターへ回転を伝えるベルトを低フリクション化するなどメカニカルロスを低減し、エネルギー効率を改善
- ・燃料噴射装置は従来のデュアルインジェクターを踏襲しながら低コスト化
- ・CVTは、従来型をベースとしながらCVTケースの薄肉化を図り、軽量化を実施

※7：2WD車のみ

※8：2017年5月現在。ダイハツ調べ

2. 入り口価格84.2万円からの低価格

◇「良品廉価なクルマづくり」で実現した低価格

- ・84.2万円の入口価格を実現し、すべてのグレードで良品廉価な軽自動車にふさわしい、お求めやすい価格を設定
- ・予め車両や部品ごとの予算を決め、お客様が求める性能や装備を予算内で実現する、予算制のもと、設計素質を考慮したデザイン開発や、生産要件を踏まえた部品設計、部材配置、形状、材料選定を徹底的に見直すなど、機能の垣根を越えた低コスト化活動を実施
- ・新型ミライースを生産するダイハツ九州株式会社大分(中津)工場に、樹脂バックドア生産工場を建設し内製化。高品質な生産と低コスト化を両立

3. 安全・安心の基本性能と装備（スマートアシストⅢ等）

◇「走りの質」を追求し、基本性能を向上

＜最適制御に進化させたエンジンユニット（KF-VE型エンジン+CVT）＞

- ・アクセル操作に対するスロットル開度と変速線図の見直し、またキックダウン時の変速制御の最適化を実施
- ・アクセル開度に対しリニアな加速を実現したことで、発進時や追越時の加速度を、従来型車より大幅に向上

＜上質でフラットな乗り心地を目指した足回りの最適化＞

- ・新開発の13インチタイヤ^{※9}や、サスペンション、アブソーバー、ステアリングなど足回り部品の特性及び制御を軽量な車体に合わせて最適化。街乗りでの使い易さを重視した操縦安定性と、高速走行での安定感ある走りを実現
- ・アブソーバーに、超飽和バルブと専用ベースバルブの組合せ^{※10}を軽自動車ですべて初めて採用^{※11}するとともに、シリンダー径をサイズアップ^{※10}。入力の変速に対するサスペンションの収縮をコントロールすることで、操舵応答性の向上と、より上質でフラットな乗り心地を実現

※9：L“SAⅢ”/L/B“SAⅢ”/B

※10：G“SAⅢ”/X“SAⅢ”

※11：2017年5月現在。ダイハツ調べ

＜快適なドライビングに寄与するNV性能＞

- ・ボディの穴数を削減し、ノイズの原因となる音の経路を遮断
- ・随所に吸遮音材を最適配置し、室内の静粛性能を向上
- ・フロントピラーやドアミラー形状の見直しなどにより、風切り音を低減
- ・ロックアップ制御の最適化により、ノイズと振動を低減

◇誰もが運転しやすく、大人4人がしっかり乗れる、ジャストフィットな安心パッケージ

＜ストレスなくドライブできる運転席と広々パッケージ＞

- ・高いパッケージング技術により、従来型車と比較し、圧迫感のない頭上空間と広い上方視界を確保するとともに、大人4人がしっかり乗れる広々空間を実現
- ・アクセルペダルやステアリングの位置を調整することで、最適なドライビングポジションを実現
- ・座り心地やホールド性に優れた軽量骨格シート構造を新設計。骨格や背中へのおさまり感とハンドル操作時のホールド性を両立。またレール配置を最適化し、座り心地を向上
- ・グリップ径を太くし、ホイールの握り部分には手触りのよい革シボを使用した新ステアリングを開発

◇安心して運転できる軽自動車に相応しい安全装備

- ・世界最小サイズ※¹²の高性能なステレオカメラを採用した「スマートアシストⅢ」を搭載
- ・スマートアシストⅢの採用により、歩行者対応の衝突回避支援ブレーキやオートハイビームなど高い安全性を実現
- ・軽自動車ですべて※¹²、フロント2個、リヤ2個のコーナーセンサーをグレード別に標準装備※¹³。障害物に接近すると距離に応じてメーター内表示とブザー音でお知らせ

※12：2017年5月現在。ダイハツ調べ

※13：G“SAⅢ”/X“SAⅢ”/L“SAⅢ”/B“SAⅢ”

4. 力強さと先進性を表現したデザイン

～「シンプルで無駄のない形」を進化させた「軽2BOXの本質」を追求～

◇高い質感と安心感を表現したエクステリア

＜安全・安心を感じるフロントフェイス＞

- ・ノーズを長く見せ、ドアから連続する立体的で存在感のあるバンパー造形で「安全・安心感」を表現
- ・フロントからサイドへ回り込むエアロスカート風のワイドなバンパーで「低重心でワイドなスタイル」を表現

＜知的で凛とした佇まいのサイドスタイル＞

- ・空気に配慮したピラーの傾きと特徴的なサイドウインドウで「視界の良さ」を実現
- ・水平基調のベルトラインと立体的なドア断面を前後に通し、大きく伸びやかな「知的で凛とした佇まい」を表現

＜低重心でワイドなリヤスタイル＞

- ・バックドアガラス両サイドの黒色ガーニッシュで空力性能を向上し、「ワイド感」を表現
- ・バンパーコーナーのラインと下端造形で「安定感」を表現
- ・フードとフェンダーの段差低減やサイドのキャラクターラインの一直線の通し方など、緻密な調整を行い、全体的に上質感を表現

◇低コスト、軽量化と運転のしやすさを兼ね備えた上質空間

- ・左右に広がる水平基調のインストルメントパネルが特徴。スッキリとした造形により圧迫感のない、シンプルで無駄のない空間。黒を基調としたデザインで、シックでモダンな雰囲気醸成
- ・黒とライトグレーのハイコントラスト配置で、モダンなシート仕立て。手触りがよく、立体的な柄をあしらった、メイン生地を採用することで高級感・上質感を演出

◇新開発のLEDランプ

- ・新開発のLEDヘッドランプ採用^{※14}で、きりっとした目力のあるシャープな印象を演出。反射板の最適な配置により、点灯時の輝きを増し、デザイン性を向上
- ・ライン状に光るLED（4個）がシャープで先進的な印象のデザインを実現した、リヤコンビネーションランプ（LEDストップランプ）を採用

◇多彩なカラーバリエーションと新開発の13インチホイール

- ・新型ミラ イースのコントラストが強い立体造形を際立たせるためのカラー、スカイブルーメタリックを新たに開発。メタリック調のカラーにこだわり、個性的で力強く、鮮やかな全9色のカラーバリエーションを設定
- ・軽量化を実現しながら、力強さ、シャープさ、緻密さを表現したホイールを各グレードに合わせ設定

※14：G“SAⅢ”、X“SAⅢ”で標準装備。B“SAⅢ”はメーカーオプション

5. 日常にジャストフィットする快適装備

<自発光式デジタルメーター>

- ・視認性の高い白色LEDの自発光式デジタルメーターを全車に採用
- ・発光エリアを拡大したエコドライブアシスト照明で、エコドライブを直感的に認識できるようサポート

<TF Tマルチインフォメーションディスプレイ>

- ・G、Xグレードでは「TF Tマルチインフォメーションディスプレイ」を採用し、メンテナンス情報や燃費スコアを表示することで、利便性を向上し、エコドライブにも寄与

<使い勝手の良い快適装備>

- ・掘込み式インパネドリンクホルダー（運転席、助手席）など、手の届く位置にポケットリアを充実配置
- ・バックドアに軽自動車初^{※15}となる電気スイッチ式バックドアオープナーを採用し、ドアハンドル付きで開閉しやすい構造

<ビジネス用途にジャストフィットする便利な装備>

- ・ビジネス用途向けにBグレードを新設定。専用のビジネスデッキボード^{※16}の標準装備により、後席を倒した際に発生する段差をなくし、フラットで床面の剛性の高い荷室を実現。またデッキボードはビニール表皮のためお手入れも簡単
- ・キーレスエントリーやパワーウィンドウ（フロント）なども標準装備とし快適性を向上

※15：2017年5月現在。ダイハツ調べ

※16：G“SAⅢ”/X“SAⅢ”/L/L“SAⅢ”はディーラーオプション